平成30年度 授業シラバスの詳細内容

科目名(英)	地域ブランド論 ( )			授業コード	E046451
担当教員名	山城　興介			科目ナンバリングコード	E31404
配当学年	3	開講期	後期		
必修・選択区分	コース必修 　地域マネジメントコース 選択 　Bソリューションコース 　会計ファイナンスコース 　スポーツビジネスコース 　福祉マネジメントコース 　こども・福祉コース	単位数	2		
履修上の注意または履修条件	地域マネジメントコースの学生は必修科目になっています。				
受講心得	遅刻、無断外出、私語、スマートフォンの使用など、講義の妨げとなる行為や他の学生に迷惑のかかる行為は禁止です。				
教科書	必要に応じて資料を配布します。				
参考文献及び指定図書	適宜指定します。				
関連科目	社会調査法、まちづくりマーケティング、まちづくりマーケティング演習、観光ビジネス論、観光学入門、地域経営論、地域イノベーション論、データ解析A、経済統計A、経済統計B				

授業の目的	我が国で行われている地域ブランド政策を考察できるようになることを目的としています。
授業の概要	現在、地域活性化の切り札として、各地で積極的に取り組まれているのが、「地域ブランド」です。 本講義では、地域ブランドやその根幹になるブランドについての基礎的理論や作成、管理、活用等の方法、全国での取り組み事例などの一連の流れを解説していきます。

○授業計画	
学修内容	学修課題(予習・復習)
第 1 週 ： イントロダクション/「地域ブランド」の概要 「地域ブランド」が求められる背景を説明します。	復習：地域ブランドが求められる背景を説明できる
第 2 週 ： 価値につながる地域性 価値につながる地域性、その2つのパターンや地域ブランドと、地域内の様々な資源の価値の高まりを説明します。	復習：価値につながる地域性などを説明できる
第 3 週 ： 地域ブランドを構成する要素 地域資源が地域ストーリーやコンセプトを形作ることや地域ブランドを構成する要素を説明します。	復習：地域資源について説明できる
第 4 週 ：「ブランド」とは何か 地域ブランドの根幹となる「ブランド」とは何かを説明します。	復習：ブランドとは何かを説明できる
第 5 週 ： ブランドを作る作業 ブランドに関する「ブランドを作る作業」を説明します。	復習：ブランドを作る作業が説明できる
第 6 週 ： ブランドを守る作業	

ブランドに関する「ブランドを守る作業」を説明します。	復習：ブランドを守る作業が説明できる
第 7 週 ： ブランドを高める方法 ブランドに関する「ブランドを高める方法」を説明します。	復習：ブランドを高める方法が説明できる
第 8 週 ： ブランドロイヤルティ戦略 ブランドに関する「ブランドロイヤルティ戦略」を説明します。	復習：ブランドロイヤルティ戦略が説明できる
第 9 週 ： 地域ブランドの戦略 「地域ブランドの戦略」と「地域ブランドの構築方法」を説明します。	復習：地域ブランドの戦略と地域ブランドの構築方法が説明できる
第10週： ブランド・コミュニケーション戦略 「ブランド・コミュニケーション戦略」を説明します。	復習：ブランド・コミュニケーション戦略が説明できる
第11週： 地域ブランドの活用 「地域ブランドの活用」を説明します。	復習：地域ブランドの活用が説明できる
第12週： 地域ブランドの管理 「地域ブランドの管理」を説明します。	復習：地域ブランドの管理が説明できる
第13週： 地域ブランド構築の成功事例（1） 安納芋の事例から「地域ブランド構築の成功事例」を説明します。	復習：なぜ安納芋が地域ブランドとして成功したか説明できる
第14週： 地域ブランド構築の成功事例（2） 富士宮やきそばの事例から「地域ブランド構築の成功事例」を説明します。	復習：なぜ富士宮やきそばが地域ブランドとして成功したか説明できる
第15週： まとめ これまでの講義を復習し、まとめます。	
第16週： 期末試験	

授業の運営方法	（1）授業の形式	「講義形式」
	（2）複数担当の場合の方式	
	（3）アクティブ・ラーニング	
地域志向科目	カテゴリー Ⅲ：地域における課題解決に必要な知識を修得する科目	
備考		

〇単位を修得するために達成すべき到達目標	
【関心・意欲・態度】	地域活性化の切り札として、各地で積極的に取り組まれている地域ブランドに関心を持つことができる。
【知識・理解】	地域ブランドやブランドについての基礎的な理論を理解することができる。
【技能・表現・コミュニケーション】	地域ブランドにおける問題を的確に説明することができる。
【思考・判断・創造】	我が国で行われている地域ブランド政策を考察することができる。

〇成績評価基準（合計100点）	合計欄	100点

到達目標の各観点と成績評価方法の関係および配点	期末試験・中間確認等（テスト）	レポート・作品等（提出物）	発表・その他（無形成果）
【関心・意欲・態度】 ※「学修に取り組む姿勢・意欲」を含む。		5点	
【知識・理解】 ※「専門能力〈知識の獲得〉」を含む。	50点	5点	
【技能・表現・ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ】 ※「専門能力〈知識の活用〉」「チームで働く力」「前に踏み出す力」を含む。	20点	5点	
【思考・判断・創造】 ※「考え抜く力」を含む。	10点	5点	

（「人間力」について）

※以上の観点に、「こころの力」（自己の能力を最大限に発揮するとともに、「自分自身」「他者」「自然」「文化」等との望ましい関係を築き、人格の向上を目指す能力）と「職業能力」（職業観、読解力、論理的思考、表現能力など、産業界の一員となり地域・社会に貢献するために必要な能力）を加えた能力が「人間力」です。

○配点の明確でない成績評価方法における評価の実施方法と達成水準の目安	
成績評価方法	評価の実施方法と達成水準の目安
レポート・作品等（提出物）	
発表・その他（無形成果）	